

△△小唄磔△△
 なる作品で、小唄の脚を
 30年、長田幹彦の原
 作を経て圓谷英二が監督に當る。主演者は小唄の市
 で他に菊川郁子、薄田研二、下田寛、演尾犯海男
 柏原寛等が助演、轟木詩郎の呼びに血闘い江戸を
 暴らすて島迫ひお市と、お市は戦時武士との交際
 量られる、撮影は上田勇、音楽は鈴木武一の監任
 帝都キネマ十日封切

技秘的才天



小紫色●アメリカ仕入れ
の可愛い少女様かりの

第二世少女
ジャズバンド

¥ 2.00

¥ 2.50

豐樂劇場

東海道五十三次を
汽車に揺られて
敷島高女旅行記(八)

第八信、門を叩ける聲に目につかぬた。ガラスの戸越しに夜明の海が見えたる松の木の間を吹いて来るやうな波の音を聞て来れる大急ぎで支度をして海岸つぱりに縁岩迄歩いて行く。そばには水を見たと想つた程の感激は覺へないが六時半、もう太陽の輝き出すとと思ふのに一向く海の標子が見えないう、後で問ふと今頃は岩の間からは昇らないと云ふであらゝ、集つてゐても結局は繪師畫の實業は得られない譯である。朝装を済まして山へ大宮の御廟まで上り山道を後に一路東海道に向ふ。

今日は晴れ、見えた此の旅行の津の姿をぬけんに早行程の手に達しようとしてゐる、惠れた天氣、秀麗富士も見られようと思つて一同。
「軍勢は津で待つのは伊勢で持つ」の津を通れば千姫とも同じ磯な襟飾の味は一向に

口を開き、そのうち幾人の脚に薄く、其中一人幾人の脚の着衣から一見される木
木一長いだらうといふはれる木
川下流の鐵橋を通さればやがて中津島古河、目新らしし建物が今、最後の仕上を急いでゐる、聞けば現在では日本一の近代式的といふ中津島本の一のコントロールするに相繼し相な陣、陣出ると博覧會を宣傳する幾本かの往來になつたつた本館の住人が開かれてゐる由、時間があればその一端で伺つたい事は土地の人々の何々あるまでも

晝食を陣の會議室とする。三月まで同級でありた萩根さんのお父さんの御葬式により陣長の許を得て待て與へられた部。テレンプの樽子に腰を下した得た幸福はあつたが何時も同じ磯な襟飾の味は一向に

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近く見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を過行くうちに富士が見える一と云ふ誰かの聲東道邊を畫くに一つ一つの目的は此の富士を見る爲「何處へ」「何處へ」と意に留む人々「見えんぢやない」と云ふ聲

近づく見たる夏に清水の瀬が足に見えたるのと清水の瀬を過ぎれば右手の山へへだてやがて左に見えたる丘陵は楠葉の古樹林、鹽土過ぎれば半嶺崎の濱名湖、鯉蛇たの大井欄は駿遠國流る大井欄すに越れば又半嶺崎何處かに瀟々たる水草を寒さに感づいた處は一方柳系多多的、堀止の臺園と一方は朝日日記の悲劇を残して幾多の製材場山の町。日本の土地は汽車のいし名所舊蹟を有する、日本河原は廣く昔ながら石合戦の誇りを饒なすところなる。幾つもの橋を

訪日宣詔記念

見本市を開催

日滿貿易振興に乗出す

新京聯合組合、貿易組合、各府縣駐在員協會、である訪日宣慰記念日に際し日本に於ける優良商品を表示し日滿貿易振興の目的をもつ五月一日、二日間特別市商會に於て訪日宣慰記念見本市を開催す

官有物售出價目款物售出價款

一、五〇〇
一、八六〇〇〇
臨時券收入 一八六、五五〇
臨時計 一、二二八、二二二

**奉天商業界絡を
總領事館
に要請**

（奉天國通）昨年末の懸案となつてゐる奉天商業界絡問題には新大連開拓の意氣に燃え、聯キムに整列し直ちにラツタ三臺に分發して哈爾濱に七日午後總領事館に蒞面、宇佐美新選管を訪問、奉天商業の外務省形勢並に、奉天商業界絡に關する陳情書を提出した

**海拉爾の新入
學兒童
六十八名**

（奉拉爾國通）日本小學校は八日午前十時より新入學兒童の入學式を舉げたが本年度入學一年生六十八名で昨年の冊名に比し、驚くべき増加を示した

（奉天國通）鐵道局では全滿直營旅館網充實計畫に基き本年暮においてハ爾濱および本總に鐵道ホテルを新設、北條、木村は惡天候により亦礦石の産額は川内原班本宮兩十萬キロンの賣出仕貨は二月末を以つて終はり、二、三個月の減を示し、三、四ヶ月の成績は三十三萬八千七百九十ロツンで前年同期に比し二萬七千九百四十六キロンの増加である

平
（新報社刊）
東京中央通
電話三三三二

横き活況を呈し米、粟、栗、穀、糠、餅、材、豆、餅、干魚、糠、穀等相續し増加を見え、本總に鐵道ホテルを新設、北條、木村は惡天候により亦礦石の産額は川内原班本宮兩十萬キロンの賣出仕貨は二月末を以つて終はり、二、三個月の減を示し、三、四ヶ月の成績は三十三萬八千七百九十ロツンで前年同期に比し二萬七千九百四十六キロンの増加である

清朝實錄完成す

一月分

一般會計歲入
財政部發表一康復四年度之月
分一般會計歳入は左の如く千
百廿萬四千八百三十二圓ある
康復四年一月分歳入徵收狀況
經常部 (單位稅)
租入稅 六〇九七八二六
釐出稅 一四、一二六
總計 六二四、〇〇四

移民團指導員
一行哈爾濱着
《哈爾濱新聞》第六次滿洲移
民團指導員六十名は青島大連
に引率し八日午後一時發羽
車で廣した、十四名の將軍

滿洲文化を中外に顯揚
文教部に滿日文化協會に委嘱
し、三十萬圓の巨費と約一ヶ
年半の日子を費して東京に於
て刊行中の清漢實錄一百冊は
この事業に完成し、この内七
十部は京官倉庫中に隠し残さ
れた七十部が奉天國立博物館
館に到りた、同實錄は清朝
十代の史實を洩く收録した貴
重な書であるが、中華民國
ではこれを捨て、顧みず唯唯
かに監製院長張繼王氏の手許
に陳置されてゐる故、積極的な
文化事業に携り出して、文教部
が同時に更に滿洲實錄を收録
した大なる意義で滿洲國の根
本史料となすものである。文
教部は右三百部の實錄(一部
千冊)の内東京に残した七十
つた。

部は日本に於ける各文化機關
に頒布する外、その一部は日
本の手を通じて世界各國の有
名な博物館、圖書館、大學に
寄附して滿洲文化を紹介する
ことになつた。

支那天博物院に依徴中の二百
三十部の國內頒布日は九日に
達し、時か國務院會議を経て
各省協議決定することにな
つた。

總督府鐵道局
荷動狀況
〔京城支局〕總督府鐵道局三
月下旬荷動狀況は前旬に引

上増え、町並活氣あふれる
に力を充てるに役せらるゝ
應じ得るが、能く漸く最も
生活困窮状態に乘り出す人々
業員與改善に乗り出すこと
となり下調査研究を進めて
ゐる。

直ちに京朝間にわたつた、一行
の方針に於いては最初の計畫を
縮小し、麗澤ホテルは三十萬
圓、永承ホテルは十五萬圓以
度で、應急施設を行つた上明
年後施設の擴大整備をはかる
こととなつた。

支局〕瓦房店區平氏三宅善
平氏は今回大連道憲事務所に
榮稱在瓦中覺醒顯著なる功績
を擧げて四月十日特等勳列車に
てホームに降ひ日滿多數官
民に見送られて出發した。

秘 境 熱 河 の
 鑛 産 資 源 概 況
 (下)

[illegible]

陸軍現役中將校出席
雜誌界未曾有の眞剣記事
眞に全國民必讀！

來るべき大戦

今や世界は噴火山上有る！
一觸即發！！いつ大戦が爆發するか、危機は正に日本をめぐって紙一重に迫つてゐるのだ！

陸軍省より派遣された皇軍各部の代表將校が數時間に亘る眞剣熱烈な座談會だ

座談會

出席者
陸軍航空本部 高橋常吉大佐
陸軍航空本部 有馬廣士少佐
陸軍科學研究所 久徳知至大佐
陸軍技術本部 平野 照中佐
東京警備司令部 新井匡夫中佐
東京防衛司令部 小川市藏少佐
東部防衛司令部 倉澤勳三郎大尉
陸軍省新聞班 大久保弘一少佐

雨降らば降れ 林銑十郎
生活全部の緊張 佐藤義亮

切切大傑作
伴らぬ女 藤澤 桓夫
手をつく父親 子母澤 寛

時事早わかり 阿部眞之助
釣り漫談 松内剛三
眞講座 瀧野正雄
水合八重子 岡譲三對談會
愛獄の父母 吉川英治
明治女書生 川口松太郎
緋牡丹傳奇 時代小説 大佛次郎
人生の花束 現代小説 中村武羅夫

五月號
無人島の戀 鈴木 祥靖
簡閱點呼異變 小原 正隆
映画俳優の替玉男 堀中 陽廣
近頃面白くなば 變化する如來 時代小説 魚田喜久雄
英雄一代 偉人小説 三島章道

實話大特輯
大學野球座談會
夜光蟲 橫溝正史
新寶島 岩崎榮

[illegible]

て親しみ、淨化される。彼が敬愛である。それは感謝心である。親の慈愛に對す

愛は生そのもの、敬愛することこれ生、故に於て人生皆忠

に道程を列す

敬愛を以て萬人物に施す。敬愛は生そのもの、敬愛すること、敬愛されること、敬愛するに及ぶ。それは思ひこころの愛、愛に及ぶ。日本精神を更にその生活原理として考ふるなら、稱せられる限

て親しみか消化される。彼等愛を以て眞の愛は生そのものの、これ生、故に

の対象は唯一であり、君で
り、神である。

運多しを運の運作

三才圖會卷之六

5

10

1

1

變と滿洲建國、滿洲帝國の

[illegible]

……合計五冊のこの教科書

キジ

娛樂 修養

あなた

シンクは讀

五

（録附物讀別特）
説小稽滑

月

（録附物讀別特）

號

（録附物讀別特）

結城大藏大

（録附物讀別特）

軍事探偵

（録附物讀別特）

東京

（録附物讀別特）

中野 二 長 三
 六大學野球主將の語る一 感激の戦
 もキツト大勝び
 にもさへる
 手にする
 大敵に
 の足元を
 止つた山の如く大勝
 ●五十銭讀み大見聞

三冊 値打萬金!!

出世 幸福 金儲け 希望 趣味 知識 常識
 かねてお望みの名讀物が何でもある賑やかさ!
 まねば御損の雑誌、安いく、家中で楽しめる大雑誌!!

愉快々焼芋とお嬢さん

明朗 母と女秘書

滑稽 波瀾 もう二人のあなた

傑作 魚河岸の男

讀切 南洋蘭と子才

小説 鮫鞘門太郎

父の遺書

文字笠

江戸五人男

現代 現代の英雄 菊池寛

時代 乳房祭 小島露二

現代 薔薇競技 細田良樹

快活 子育て文七 山松太郎

家庭 呼子鳥 加藤武雄

二大 漫畫天レヴュー館
 待渾 ◆キング大娯樂園

大活躍物語

小説 薔薇競技 細田良樹

遊覧案内

家庭 呼子鳥 加藤武雄

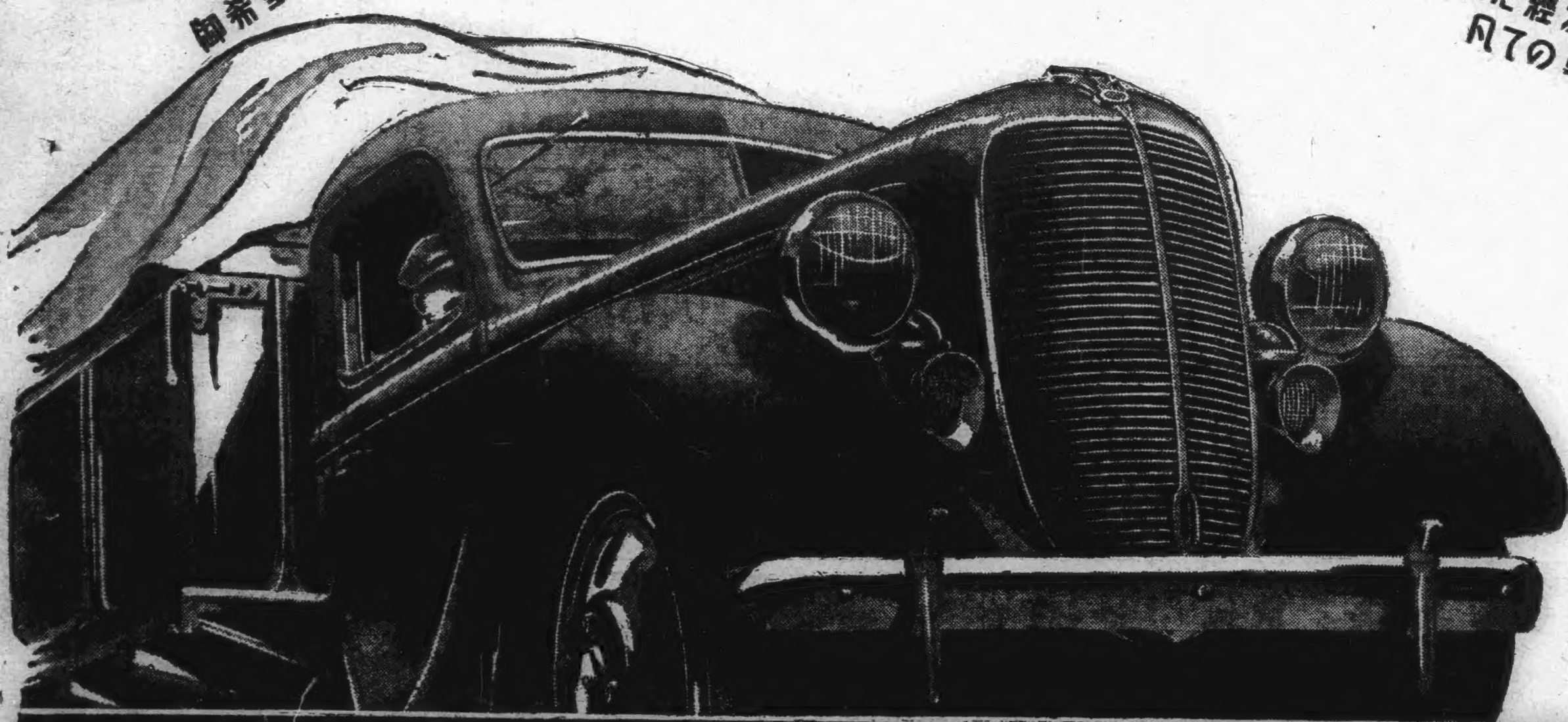
遊覧案内

家庭 呼子鳥 加藤武雄

表 鑑

21馬力は
最大の経済に加へて
優秀な性能
御希望で131吋車軸に装備

30馬力は
最高の性能に加へて
勝れた経済
凡ての車軸に装備



1937年型 フォードV・8トラック及びバス 目下フォード特約販賣店にて陳列中

1937年型の新特徴

21馬力「能率エンジン」60實馬力を發生。御希望によつて131吋シャシーに装備

出力と運轉經濟を増大した30馬力エンジン

合金鋼ピストン

改良合金コネクティング ロッド ベヤリング

改良配電器コンタクト ポイント

一層長壽を保つファン ベルト

能率の一層増進した新様式冷却装置

自働潤滑及び水密閉式水ポンプ

一層頑丈になつたクランクシャフト及び大型メーン ベヤリング

ラヂエーターの改良架装法

改良後車軸

操作容易な新安全ブレーキ

安全で便利なバッテリーの新位置

端麗な新外觀美—其他

從來通り勝れた頑丈さ、經濟、信頼性及び性能等の諸特徴は其儘取入れてあります

フォード特約販賣店

株式會社

滿

洲

モ

一

タ

ー

ス

新京支店

新京八島通三二



(五十五)

林 奎 兵 衛

金 子 士 郎 書

「新舞」(Shinpa)は、日本の舞踊の一種で、明治から大正にかけて盛んになった。その特徴は、狂言や浄瑠璃の要素を取り入れ、活劇的な内容を持つことにある。舞臺上の動きは非常に激しく、観客の心を捉える力がある。また、衣装も豪華で、色鮮やかなのが特徴である。新舞は、日本の伝統文化を現代風にアレンジしたもので、多くの人々に愛されている。



「新舞」は、日本の舞踊の一種で、明治から大正にかけて盛んになった。その特徴は、狂言や浄瑠璃の要素を取り入れ、活劇的な内容を持つことにある。舞臺上の動きは非常に激しく、観客の心を捉える力がある。また、衣装も豪華で、色鮮やかなのが特徴である。新舞は、日本の伝統文化を現代風にアレンジしたもので、多くの人々に愛されている。

貧血衰弱と...

病後の回復に

こんなによいものがある
手術後の肉の上りも早い

血液の循環がよくなり元氣回復す



新 谷 正 雄



川 田 雅 青



黄 裕 丙



藤 田 元 次 郎



大 川 理 三 郎



蘇 氏 柳 春

信州鹽澤家傳 養命酒

製法日本専賣特許
食料品店にあり

小瓶進呈

貴客の健康を第一に
小瓶進呈の特典あり

深山仙酒

長春座前(弓岡ビル地階)
電話の五七三八

青葉

味覺で立つ
健康を第一に

養命酒

養命酒本舖
東京市豊島区上野四丁目四十六番地

東京 藤田洋行 機械製作所

最高級工作機械 年産五千架

通達浪天奉 行 洋 田 藤 社 會 名 合

おでん 土筆

新着 婦人編 手編 毛糸
金泰洋行

魚のそぼろ

長春座前(弓岡ビル地階)
電話の五七三八

青葉

味覺で立つ
健康を第一に

調味料の性質 知らねば御損です

味の素

味の素は、最近よく知られるようになった調味料で、品質改良の功が著しく、味を豊かにします。計に使用すれば、味は格段に良くなります。

砂糖

砂糖は、食品を保存する際に必要で、味を甘くします。計に使用すれば、味は格段に良くなります。

醤油と鹽

醤油は、味と香りを加えるために必要で、味を豊かにします。計に使用すれば、味は格段に良くなります。

味の素 砂糖 鹽

御家庭には、味の素、砂糖、鹽を常備しておくと、料理が格段に美味しくなります。